

フレスタと 地域活性化などで連携

市と株式会社フレスタホールディングスは4月26日、地域の活性化と市民サービスの向上をめざし、連携して事業を行う協定を結びました。

今後、農業や観光、保健福祉などの分野で協力して事業を進めます。

フレスタ三原店内で行われた締結式で、天満祥典市長は「お互いの強みを生かし、地域の活性化に取り組みたい」と話し、同社の宗兼邦生代表取締役社長も「市と連携を強め、地域を元気にするお手伝いがしたい」と応じました。

同社グループは糖度の高いトマトを栽培するため、先日、佐木島で施設の建設工事を開始しました。



▲握手するフレスタの宗兼邦生社長(右)と天満市長

経営企画課

☎0848・67・6270

久井コミセン・ 久井歴史民俗資料館 が開館

市が旧久井小学校の校舎に移転整備を進めてきた久井コミュニティセンターと久井歴史民俗資料館が開館し、4月28日オープニングセレモニーを行いました。

久井公民館は昭和44年、久井歴史民俗資料館は昭和43年に建設され、施設の老朽化が問題となっていました。総事業費は2億1800万円。建物は鉄筋4階建てで、コミセンには集会所や調理実習室などがあり、歴史民俗資料館には展示室や収蔵庫があります。

久井の歴史や文化を紹介した展示室には、牛や馬の取引でにぎわっていた「杭の牛市」の資料や県の有形民俗文化財にも指定されている「節句どろ人形」が約150体展示されています。



▲展示室に並ぶ節句どろ人形

【施設概要】

所在地 久井町下津1397番地
電話番号 0847・32・7139

久井コミュニティセンター

開館時間 9時～21時30分

久井歴史民俗資料館

開館時間 10時～17時

入館料 無料

生涯学習課

☎0848・64・2137

文化課

☎0848・64・9234

「三矢の訓」日本遺産 登録へ再申請

毛利3兄弟ゆかりの地として協力し観光振興に取り組む三原市、安芸高田市、北広島町は先月17日、三原市役所で「三矢の訓」連携首長会議を開き、今年度の日本遺産登録で選外になった「三本の矢」のストーリーについて、来年度の認定をめざすことを確認しました。

3市町の首長らは会議で、学識経験者や観光協会などで構成する協議会を新たに立ち上げ、毛利一族のふるさとであることをPRし、活動実績を積み上げることを合意しました。

天満市長は「結果を分析し、早めに準備して、登録につなげたい」と話しました。

副市長が就任

5月1日、市議会から選任の同意を得て、現職の池本勝彦副市長の再任が決定し、20日に就任しました。



池本勝彦副市長

昭和56年に広島県職員となり、財産管理課長、総務課長、西部総務事務所長を経て、平成25年5月から平成29年5月まで三原市副市長。59歳。



▲協力して日本遺産の登録をめざします

建築城450年事業推進担当室

☎0848・61・0450

文化課

☎0848・64・9234